



学校概要

君の青春の輝きを 古河一高のキャンパスで

生徒一人ひとりが輝ける学校



沿革

大正 15年	茨城県立古河商業学校設立 古河男子尋常高等小学校内の商業補習 学校が前身（設置者古河市、乙種学校、 修業年限 3 年）
昭和 6年	茨城県立古河商業学校（県移管）となる
昭和 19年	茨城県立古河工業学校に転換、茨城県 立古河商業学校は昭和20年度まで存置
昭和23年	茨城県立古河高等学校となる （修業 3 年）
昭和24年	茨城県立古河第一高等学校と改称 定時制課程併設
平成18年	校舎新築（1 号棟）＜創立80周年＞
令和 6年	体育館長寿命化工事
令和 8年	＜創立100年＞



令和7年度生徒会会長
竹熊 歩美
(普通科 古河第二中)

在校生からのメッセージ

茨城県立古河第一高等学校は商業に関する学科と普通科が併設されている、2026年に100周年を迎える伝統ある学校です。

商業に関する学科は5クラスあり、多くの資格を習得することができます。2年生からは「流通ビジネス科」「会計ビジネス科」「情報ビジネス科」に分かれて好きな分野を学ぶことができ、国家資格であるITパスポート、日商簿記に挑戦する生徒も多くいます。

普通科は各学年2クラス設置され、1年生で基礎科目を学び、2年生で文理選択をします。希望進路の実現に向けて週2回7時間授業、平日課外、土日課外に取り組んでいます。

また、学校行事にはクラスマッチ、文化祭・体育祭（隔年開催）、野球応援、ロードレースなどがあります。どの行事も生徒が主体となって活動し、かけがえのない思い出を作っています。昨年度開催された文化祭では、新型コロナウイルスの影響もなく、本来の規模で有志発表やクラス企画、文化部の展示や発表など、大いに盛り上がりました。クラスマッチや体育祭などでは、各クラスでデザインしたオリジナルのクラスTシャツを着用し、仲間との絆を深めながら競技に挑みます。

さらに、放課後には多くの生徒が部活動に励んでいます。古河一高の部活動は運動部だけでなく、文化部も関東大会や全国大会に出場するなど、素晴らしい成績を収めています。

このように我が校は、勉強や学校行事、部活動など生徒が多面で活躍できる学校です。みなさんも、100周年という特別な瞬間を、私達と一緒に最高の青春で彩りませんか？

本校の探究活動

本校では「桐花貢献プロジェクト」の名のもとに持続可能な社会のために地域に貢献できる人材育成プロジェクトを行っています。

①「総合的な探究の時間」

- 1年次・地域探究、社会的な課題
- 2年次・国土の歴史と平和、社会的な課題
- 3年次・社会的な課題、希望の進路



②「課題研究」(商業に関する学科)

- 3年次
- ・地域社会の産業を支えるために商業分野の専門性を高める研究
- 3年 流通ビジネス科
- ・「商品開発」



③「高大連携」

大学の出前授業を校内で行う。



④「IBARAKIドリーム・パス事業」

高校生等を対象に、地域の課題解決や自分の夢実現に向けた企画立案・実践課題を通して、高い創造性を持ち、リスクに対して挑戦できる力、アントレプレナーシップ（起業家精神）を育成する。